## 目標達成計画

作成日 : 平成 23 年 1 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先 して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】							
優先 順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に 要する期間	目標達成状況 <u>(任意)</u>	
1		重度化に向けた取り組み 身体介護の技術の修得 家族支援	職員の介護力アップにより介護上の不安 を少なくする。 家族と職員とのより密な関係作り	身体介護についての研修参加・勉強会の開催 担当職員と家族の面談お機会作り 家族通信の継続と内容充実	12 か月		
2		災害緊急時の安全確保 消防団との連携 応急処置の知識・技術の確認	地元消防団の避難訓練の参加	地元消防団に対しGHの内容と現状について理解していただき、協力を得る。 消防団との情報交換(GHでの訓練等の内容・入居者の状況等) 避難訓練の参加呼びかけ	12 か月		
3		地域の方によるホーム機能の活用拡大	GHやまとの活動内容を知りその機能を 活用していただ〈。	運営推進会議で具体的な活用を提示し話題に上げていく。 に上げていく。 公民館活動や、学校活動、自治会の活動の中でGHが出来る事を計画的に実践していく。 介護相談、施設見学、ボランティアの受け入れなど地域の方が立ち寄り易い環境整備。			
4					か月		
5					か月		

事業所名グループホーム やまと作成日:平成 23 年 1月 9 日

## サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】						
実施段階		取り組んだ内容				
Zastata		( 該当するものすべてに 印)				
1	サービス評価の事前準備	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った				
		利用者へサービス評価について説明した				
		利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした				
		運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した				
		その他(				
2	自己評価の実施	自己評価を職員全員が実施した				
		前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った				
		自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った				
		評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った				
		その他(				
	外部評価(訪問調査当日)	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった				
3		評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた				
		対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た				
		その他( )				
	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った				
		利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った				
4		評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った				
		運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った				
		その他( )				
	サービス評価の活用	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した				
		「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)				
5		「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)				
		「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)				
		その他( )				